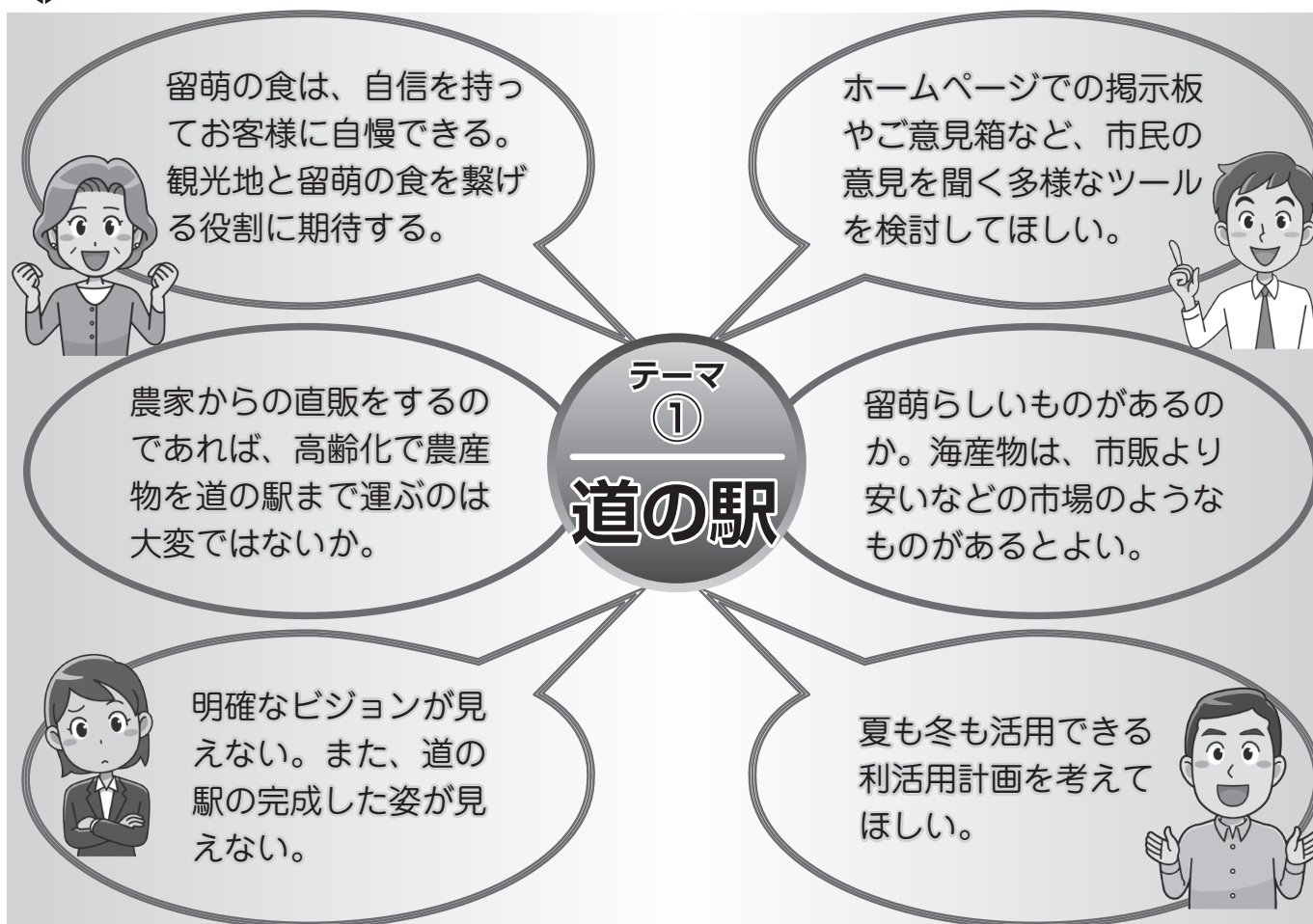
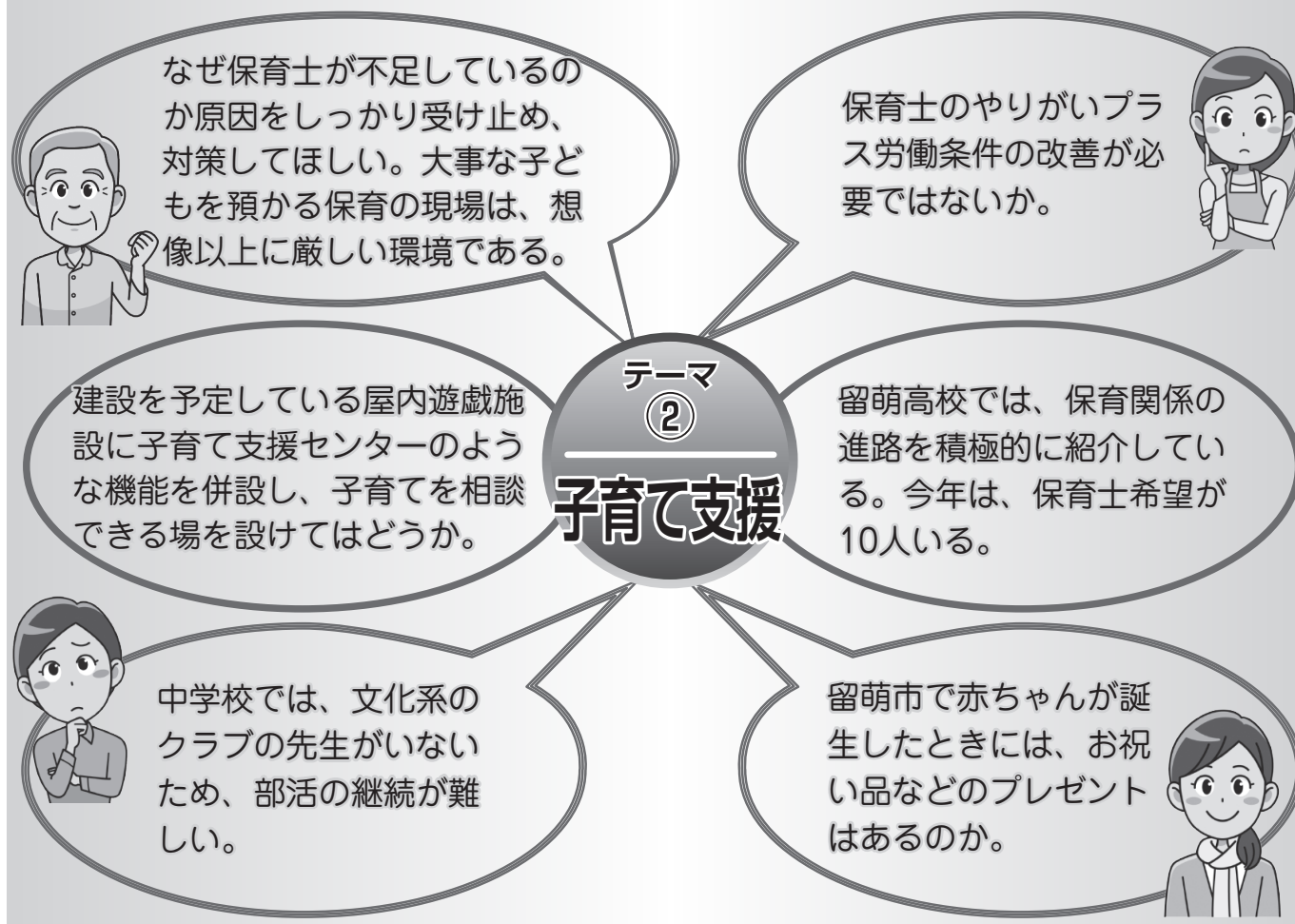




皆さまからいただいたご意見の一部をご紹介します



留萌市議会だより

第 135 号

令和 2 年 2 月 1 日発行

●留萌市議会事務局

TEL42-1907 FAX43-6700

URL : <http://www.e-rumoi.jp/gikai/index.html>

E-mail : rumoishigikai@basil.ocn.ne.jp

留萌市議会

検索



※左記の QR コードからも留萌市議会のホームページにアクセスできます。

議会です こんにちは

主な内容

- P 6～P 7 ・市民と議会の意見交換会を開催しました。
- P 8 ・行政視察を行いました！
- P 9 ・第 1・第 2 常任委員会からの報告 ほか
- P10～P12 ・第 4 回定例会一般質問と答弁
- P13 ・こんなことが決まりました
・各組合議会からの報告 ほか

市民と議会の 意見交換会を 開催しました。



令和元年 11 月 20 日
るしんふれ愛パーク 管理棟にて

意見交換会には、30 人の市民の皆さんのご参加をいただき、さまざまなご意見を交換することができました。ご協力、本当にありがとうございました。

会場では、はじめに議会報告を行いました。第 1 常任委員会からは、総務部、地域振興部、都市環境部などの所管事務の調査についての報告、第 2 常任委員会からは、市民健康部、留萌市立病院、教育委員会所管事務の調査についての報告、平成 30 年度決算審査特別委員会からは、決算の結果から緊張感を持った財政運営が必要であると報告されました。

次に、第 1・第 2 常任委員会の各委員長が意見交換テーマ「道の駅」「子育て支援につ

いて」の要旨説明を行いました。そして、参加者が A 班から F 班に分かれ、意見交換しました。

市民の皆さんから頂いたご意見は現在、議会として検討を進めています。結果については、本年度中に留萌市議会ホームページ (<http://www.e-rumoi.jp/gikai/index.html>) で公開予定です。



行政視察を行いました！

【第1常任委員会】

●視察日程 10月30日～11月1日

●視察先 ①青森県七戸町 ②秋田県

道の駅「しちのへ」は、新幹線「七戸十和田駅」前という立地を活かし、本年1月には重点道の駅に選定されており、道の駅登録制度開始当初から26年間、地域住民と行政、議会が地道に創り上げてきました。このため、留萌市議会では、留萌道の駅基本計画に参考とするため視察しました。開設当初は、何もなく広大な土地だったため、住民の理解も難しく賛同者が少なかったそうです。現在は約200団体が出店し、農家の収入増に繋がっているとのことです。「目的地」としての利用は難しく「ついで」を増やし、次の観光地への繋ぎとしての道の駅を目指していました。留萌市でも、住民と行政、議会がお互いに理解し合いながら最善の手段を検討したいと感じました。



▲道の駅「しちのへ」重点道の駅選定証授与式

「秋田プライウッド株式会社」は、留萌港からのトドマツ材の受け入れ先です。留萌港における道産原木利活用の参考とするため視察を行いました。秋田プライウッド株式会社は、国内産材の合板生産日本一を誇り、年間売上高270億円、社員数は約470人。留萌港からの取扱量は、年間3万㎡、留萌港のシェアは全道で25%、全国で4%。秋田プライウッドでは自社船も活用しているそうです。

第1常任委員会では、冬期間の留萌港からの原木の安定供給をはじめ、年間を通した原木供給の増加について、調査・研究の必要性があると感じました。



▲企業視察(秋田プライウッド株式会社)

【第2常任委員会】

●視察日程 10月15日～17日

●視察先 ①京都府木津川市 ②兵庫県高砂市

第2常任委員会では、待機児童の解消に向け、進んだ取り組みを行っている京都府木津川市、赤字の市民病院に対して議会が特別委員会を設置している兵庫県高砂市を視察しました。木津川市では、待機児童解消に向け、具体的な解消策を行うための基本的ルールとしての「待機児童の解消対策ガイドライン」を策定し、このルールに基づき待機児童の解消を図りました。



▲木津川市議会議場

民間活力を利用して保育所の開所や増築を行い、保育定員を大幅に増やし、待機児童を1年間で解消しました。保育士確保のために、働く環境を整備し、年に6回の見学会や「保育士再就職支援研修会」を実施しており、待機児童解消に向けた有効な取り組みだと感じました。

高砂市では、医師不足が原因で赤字となっている問題を解決するために、さまざまな取り組みを行っていました。経営改善に向け、有識者による「市民病院あり方検討委員会」を設置し、病院の課題の対策を議論しています。高砂市議会は、市民病院の経営改善に提言をし、政策課題に取り組むために「市民病院経営改善対策委員会」を設置し、委員会議論を重ね、病院再生のための視察を行っています。



▲高砂市議会議事堂

今後は、これらの進んだ事例を参考とし、第2常任委員会で調査・研究を進めていきます。

第1常任委員会

11月19日の常任委員会では、12月の第4回定例会に向けた議案事項の確認と報告事項、情報提供事項の確認を行いました。
消費税率および地方消費税率が10月1日に10%へ引き上げられたことに伴い、コミュニティセンターや文化センターなどの使用料、し尿処理手数料などを改定。改定後の使用料等適用時期は、令和2



年4月からを予定しています。
【寺子屋・るもいっこ実施】
子どもたちの基礎学力の向上や学びのきっかけづくりを目的に元塾講師や元学校教員などの協力をいただき「地域の学び舎」を開設。1回目13人、2回目19人が参加したとの報告を受けました。

第2常任委員会

第2常任委員会では、毎月40人前後の待機児童の推移を情報提供として確認しています。
待機児童解消対策として、「規模保育所等整備事業」が補正予算として計上され、小規模保育事業所が12月2日に、ぶるも1階にオープンしたことにより、待機児童は39人が11月1日現在23人に減少しています。



【陳情審査報告】
第2常任委員会に付託された「幼児教育・保育の無償化に伴う食料費の取扱いについて」の陳情は、5回に渡り慎重に審査した結果、「優先で取り組まなければならない待機児童の解消や、保育の全体的なバランス・公平性を鑑み趣旨採択」としました。

留萌南部三市町議会議員研修交流会を開催

●地域医療の現状を理解

9月4日、留萌南部三市町議会議員研修交流会を留萌産業会館小ホールで開催しました。
この研修交流会には留萌市議会14人、増毛町議会11人、小平町議会8人の議員が参加しました。
この会は、議員の研さん・情報交換を行うための場です。研修では、講師として北海道留萌振興局保健環境部・保健行政室長の大森英孝氏を迎え、講演「地域医療について」留萌区域地域医療構想を踏まえて」を受講しました。

退院後の在宅復帰を含めた切れ目のない医療の提供や現状の看護師不足への対応、望ましい病床数をまとめた地域医療構想について詳しく解説を受けました。
その後、それぞれの議会からテーマを説明し、情報交換を行いました。
情報交換では、留萌市議会から「議会ICT化の取り組み状況について」、増毛町議会から「議会連



▲留萌南部三市町議会議員研修交流会

令和元年第4回定例会

一般質問と答弁



よねくら
米倉 靖夫
無会派

質問 公共施設について

市内には46の公園があり、そのうち22には遊具なく、空き地に近い状態になっている。

40年間でたつて遊具の老朽化や子どもたちの減少で昔の公園とはかけ離れたものとなっている。これから活用しようとする場所に集約し、市民が集まりやすい場所に力を注ぐべきでないか。

神居岩公園の遊具を整備しようとしているが場所が遠く不便である。船場公園につけるべきでないか。



▲空き地に近い状態の街区公園



とみず みほこ
戸水美保子
留萌公明党

質問 風しんの予防接種について

市の予防接種の受診・接種の状況を伺いたい。事業所などへの呼び掛けは行っているのか。今般、厚生労働省から発表された追加的対策に対し、工夫は考えているか。



▲対象者に配布された風しん予防接種無料クーポン

【答弁】 9月末の数値だが、風しん抗体検査の受診、接種の数はまだ少ない。地元メディアも利用し、抗体検査受診の再勧奨を行っていく。また、市役所内でも受診を勧奨していく。

質問 音楽合宿支援の考えは

は、バス事業者と協議したい。



ちんだ りょうこ
珍田 亮子
萌政会

質問 見晴道路整備事業について

見晴道路整備事業が完成することにより、地域住民の避難路確保や通勤通学の利便性が図られる。現状の進捗よく状況と今後の見通しを知りたい。

【答弁】 令和2年度は、該当地区の用地補償や建物補償を継続する。見晴町地区から、野本町・千鳥町地区の交通不通区間において地山の切り土を先行し、野本町・千鳥町地区の盛り土区間に流用して土盤強化の促進などを行うと聞いている。



▲市内小学校での出前授業

質問 留萌市環境政策について

地球温暖化防止対策としてクールチョイス事業を3年継続しているが、その効果と今後の取り組みについて知

地方創生の事業として、一般社団法人留萌青年会議所が取り組んでいる音楽合宿が大きな成果を上げている。継続して発展できるよう、支援する考えはあるのか。市の財政を考えると、この事業に対し、「企業版ふるさと納税」の活用は考えられないか。

【答弁】 音楽合宿は地方創生の取り組みに資する事業であり、市民力を発揮できる継続的な取り組みとなるための環境づくりを積極的に支援したい。

国の動向を踏まえ、このほど制度が拡充される「企業版ふるさと納税制度」の活用の可能性を検討したい。



つばめ まさかつ
燕 昌克
萌政会

質問 公共施設の今後について

留萌市は、度重なる震災報道を受け、改めて防災・災害対策の中枢を担う庁舎機能の重要性や避難場所ともなる公共施設の耐震性を認識していると思う。市庁舎建替えに活用できる市町村役場機能緊急保全事業は道北6市のうち4市が活用を予定している。来年度に実施設計に着手することが条件である事業債の活用について伺いたい。

【答弁】 事業債の活用については、まちづくりの視点や他都市の状況を参考にしても議論の時間がなく、大変厳しいと判断する。今後は、北海道市長会を通じ、事業債の延長を要請していく。



▲震度6強で倒壊の危険がある、市役所庁舎

質問 道の駅について

11月20日に開催した、市民と議会の意見交換会において、「もう少し時間をかけた方がいい」など、来春に申請開業を目指すことに慎重な意見が多かったと感じる。一度立ち止まり、時間をかけて進めてみてはどうか。市長の見解を伺う。

【答弁】 高規格幹線道路の全面開通による効果を最大限に活用し、多額の投資を行わず、まずは登録申請した後、民間の力を借りながら、通年で運営できるようにチャレンジしたい。



むらやま
村山ゆかり
萌芽クラブ

質問 J R留萌本線の行方

市長は、「次の一手を考えたい。しかし、J R留萌本線は、線であり点ではない。沿線として考えなければならぬ」と話している。沿線自治体で議

論が進まないのはなぜか。方針を伺いたい。

【答弁】 留萌と空知の文化の違いもある。石炭産業の時代や沿線に高校があった時代は交流があったが、現在は空知方面からの利用は、ほぼ皆無。存続させたいのであれば、まずは利用をお願いしたい。判断は、令和2年になると思うが、イコール廃線ということではない。

質問 るもいプラザ閉鎖後の対策

るもいプラザの所有者からテナント事業者に対し、来年4月30日に閉鎖する方針が通知された。テナント会が存続を求める要望書提出の際、違う場所での賑わい創出できるか検討している



▲るもいプラザ内でのバス待合も多い。対策が必要

【答弁】 別の施設での開設の可能性などについては、商店街振興組合と商工会議所など関係者と協議している。「まちなか賑わい広場」は、現行のまま動かせるか検討している。バス停の移動



うしろ ゆきこ
鵜城 雪子
無会派

質問 るもいプラザの存続について

現在のるもいプラザの機能を旧フカセに代替施設の候補としてお考えのようだが、4月末のタイムリミットまでのスケジュールがタイト過ぎる。

市は、早急に商工会議所や商店街連合会、テナント会と一同に会合し、所有者に1年程の猶予をもらい、中心市街地のあり方に付いて真剣に練り直す必要があると考えるが、市長の考えを伺いたい。

【答弁】 管理会社からは、1年ごとに赤字がかさむとの申し入れであり、延期



▲4月末に閉鎖予定のるもいプラザ

は難しいと考える。これ以降だと管理状況も悪化するため、他の場所を探し協議を進めていきたい。

質問 来年度の道の駅登録に向けて

予算の概要もなく、事業内容も曖昧な上、指定管理者と市直営の役割もはっきりと決まっていない状況。道の駅登録は時期尚早だと考える。

明確なビジョンと事業内容、予算の概要ができてから登録を図るべきだと考えるが市長の考えを伺いたい。

【答弁】 高規格幹線道路の完成に伴い、ある程度同時期に留萌の道の駅があり、休憩スペースがあると利用者に伝えていくことで相乗効果に期待している。

令和元年 第4回定例会
12月3日～11日

ほか2件 了

ほか2件 同 意

ほか 2 件 原案可決

..... 趣旨採択

12